

## 但馬牛の肥育過程におけるモノ不飽和脂肪酸割合の経時的变化

但馬牛の肥育期における生体脂肪中のモノ不飽和脂肪酸（MUFA）割合の経時的变化を明らかにするため、1か月間隔で皮下脂肪、2か月間隔でサーロイン部の筋肉内脂肪を調査した結果、MUFA割合は皮下脂肪、筋肉内脂肪とも肥育初期から経時的に増加していること等がわかった。

### 内 容

牛肉の美味しさの中でも、風味や口溶けに関係するといわれている脂肪中のモノ不飽和脂肪酸（MUFA）割合は、肥育期間、性別、種雄牛の違いによる影響を受け、一般的には肥育の経過に伴って増加することが知られている。

脂肪酸組成に影響する遺伝的・環境的要因の解明につながる研究の基礎データとして、但馬牛の肥育期における生体のMUFA割合の経時的变化を明らかにするため、去勢牛は29か月齢まで、雌牛は35か月齢まで、1か月間隔で皮下脂肪、2か月間隔でサーロイン部の筋肉内脂肪を調査した(写真)。

その結果、MUFA割合は皮下脂肪、筋肉内脂肪とも肥育初期から経時的に増加すること、MUFA割合は減少することもあり、季節の影響がうかがわれること、雌牛の筋肉内脂肪のMUFA割合が29か月齢以降も増加していることから、去勢牛でも増加する可能性があり、肥育期

間を延長して調査する必要があることが明らかになった(図)。

### 今後の方針

今後、脂肪酸組成に影響する要因を解明していくための基礎データとして活用する。

肥育期間を延長したMUFA割合の調査と食味性の評価を組み合わせることにより、但馬牛肥育牛の最適な出荷時期を解明する。

正木 達規 (家畜部)

(問い合わせ先 電話：0790-47-2427)



写真 人体用生検機器で体脂肪を採取

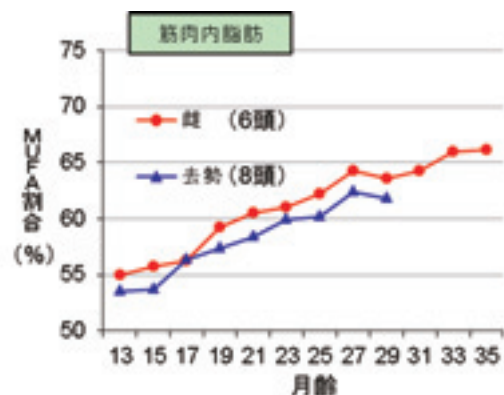
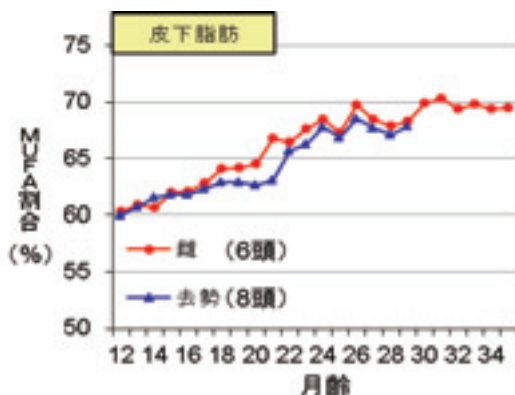


図 肥育の進行に伴う MUFA 割合の推移